

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度第3回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【報告事項】

- ・新上越斎場建設事業基本構想（案）について（非公開）

### 【協議事項】

- ・令和2年度地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

令和2年6月12日（金）午後6時30分から午後8時08分

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

報告事項については、「意思形成過程の事項」であるため非公開とします。

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 中澤武志（会長）、青山恭造（副会長）、田中美佳（副会長）、磯田一裕、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、坂井芳美、竹田禎広、田中 実、田村雅春、林 昌宏、古澤悦雄、増田和昭、町屋隆之、丸山岳人、水澤敏夫、水島正人
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小池係長、霜越会計年度任用職員  
福祉課：北島課長、佐藤副課長、新保係長、渡邊主任

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【中澤会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：久保田委員、坂井委員に依頼

議題【報告事項】新上越斎場建設事業基本構想（案）について、非公開  
では次に【協議事項】令和2年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.2「令和2年度 地域活動支援事業【直江津区】採点総括表」、  
資料No.3「令和2年度地域活動支援事業 その他特記事項等一覧」に基づき説明

【中澤会長】

今までの経験上、皆さん、いろいろな思いを持って臨んで来られると思うので、特記事項についての審議は非常に長くなってしまふ。そのため、審議に入る前に一つ提案をさせていただきたい。

過去2回の会議の流れについて、地域協議会のあり方はどうあるべきか。やはり同じ土俵の上で審議を進めていかなければいけない。発言の機会が一定の委員だけに偏っている等の声も聞こえてくる。そこで、今日、地域活動支援事業の一つの節目なので、今後、どこかの日程で長年委員を務めている増田委員をチューターにして、地域協議会のあり方等について話し合う場を持ちたいと思っている。

新しく地域協議会の委員になられた人は、いきなり地域活動支援事業の採点業務に入ったので戸惑いがあると思うので、そういう機会を持ちたいと思うが、いかがか。

（異議なし）

では、後程そういう機会を持つということを前提にこれからの審議をお願いしたい。

本来であれば、提出していただいた特記事項を1項目ずつ行うという形を取っていたが、今回は審議方法を変えたいと思う。

まずは全部採択されていることを大前提としていただきたい。資料に出てくる項目を見ると、採択にあたり、これは提案に反映させたいとか、これだけはカットしても良いのではないかというような提案がある。また見ていくと意見や感想、補強意見もある。それから、なぜ不採択にしたのかという理由づけもある。そういうことも含めて、これは意見という形で提案者に口頭なり文書なりで伝えるということ、皆さんに採決で諮りたいと思う。

採択の場合には資料の文言を伝える必要はないという意見であれば、伝えなくても良

いと思うし、伝えるべきだという意見であれば、提案者に事務局から伝えていただくという形で、2つに分けたいと思う。

提案という使い方ができると思うのは、「No.2 五智公園の整備、有効活用支援事業」のエコベンチについては、採択されているがエコベンチだけはいらないのではないかという意見が多ければ、これはカットさせていただくということになるし、「No.9 直江津アートプロジェクト事業」については、地域協議会も関わっていくという提案が出ている。それをどう扱うか。この2つを提案という形で扱いたいと思う。その他いろいろな意見があるが、地域協議会の意見として提案者のほうに伝えるべきか否かという観点で扱っていききたい。そういう議事の進行の仕方でよろしいか。

(異議なし)

最初に「No.1 クリーンナップ上越 i n 五智事業」だが、1行目の特記事項について、提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では提案者へ伝えないこととする。

次に2行目の特記事項についてだが、金額が多すぎるのではないかという意見だと思うが、提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では提案者へ伝えないこととする。

次に「No.2 五智公園の整備、有効活用支援事業」についてだが、特記事項5件の内4件が「エコベンチは必要ない」ということだと思うが、エコベンチは必要なし、と思う委員は挙手願う。

(挙手多数)

では、エコベンチの費用は減額とし、採択とする。

5行目の特記事項で、「パネルや小看板も必要がない」とあるが、提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では提案者へ伝えないこととする。

「No.3 直江津地区高齢者いきいき支援事業」について、1行目の特記事項を提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では提案者へ伝えないこととする。

2行目は、駄目にした理由なので、これはカットする。

「No.4 直江津駅前環境美化推進事業」については、「えちごトキめき鉄道が予算を出すかもしれない。えちごトキめき鉄道に交渉したらどうか」ということを提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では提案者へ伝えないこととする。

「No.5 米作り体験事業」について、1行目の特記事項は、頑張っているということなので、これはカットする。

2行目の受益者負担分も負担が必要という意見を提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では提案者へ伝えないこととする。

「No.6 天王川クリーンナップ作戦事業」については、評価が記載されている。

「No.7 『直江津写真フェア』事業」について、これは「謝礼金が高い」ということだと思うが、提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では提案者へ伝えないこととする。

次に「No.8 鉄道の町『直江津』発信事業」について、「直江津は鉄道の町ではない」という意見を提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では、提案者へ伝えないこととする。

次に「No.10 <直江津の歴史・食・文化をつなぎ紡ぐ>事業」について、1行目の特記事項を伝えるべきだという意見が出たということを提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手多数)

では、提案者へ伝えることとする。

私は、これはぜひ伝えて欲しい。何故かというと、質問に対する回答に「コロナ事情が許されなかったら事業をやめる」と答えている。今年はコロナウイルスの関係で、寒ブリ祭りや船見公園夕日コンサート、100キロマラソンもやめている。事業を行うの

であれば不返答の決意でやって欲しい。簡単にやめられるぐらいなら二次募集の金額に影響するので、伝えるべき時に伝えていただければありがたい。

それから2行目の「審査基準に合わない」ということだと思うが、提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では、提案者へ伝えないこととする。

「No.9 直江津アートプロジェクト事業」の3行目の特記事項について、磯田委員に補足説明を求める。

#### 【磯田委員】

3行目の特記事項について補足説明をする。先ほど、会長から、地域協議会のあり方をしっかり押さえようという話があった。その部分から考えていることである。今まで、地域活動支援事業の採択をしてきている中で、例えば事業がずっと同じパターンで、そのまま継続というような状況になっていたり、協議会の中でいろいろ審議して、その事業に対して真摯に意見を出して意見交換しているものが、提案団体のほうになかなか伝わっていないということもあるというのが私の思いの中にある。今回、この事業に対しても、地域協議会としてこの事業をより良くしていくためにもう少し骨組みをしっかりとってもらいたい。或いは、地域の人達との関わり方をもう少し明確にさせていただきたいという思いがあり、こういう文言を入れさせていただいた。

要は、地域協議会としてコミットしていくというのが、制度上難しいとするならば、有志というか、地域協議会委員としてこの実行委員会に入ったり、この事業に対して、積極的に参加したりしていきたい。また、地域協議会と市民団体が意見交換をしながら、一つのプロジェクトをもう少しブラッシュアップしていってもらいたいという思いで、このように記載した。それは、地域協議会の本分ではないとか、そこまでやる必要はないという意見もあるかもしれないが、今回のこの事業については、まだ非常にグレーな部分や本当に腑に落ちていないところが多々ある。その部分を実行委員会という組織で、どういうふうに行っていくのかというところを全て提案者にお任せするのではなくて、もう少し我々が意見を言っていくような形でこの事業を良い方向に進めていければ良いのではないかという思いで書いた。

#### 【中澤会長】

この事業に限ってという要望か。

## 【磯田委員】

今回はこの事業に限ってだが、提案団体との意見交換は、前に1度、「福島城を愛する会」で行ったきりで、それ以降は行ってない。やはり我々の審議とか、こうしたらもっと良くなるのではないかといいところが、市民団体へも伝わってないし、今の附帯がついていかないとすれば、全然伝わらない。そういう中で、意見交換をしながら、もう少し良い事業にしていくことも、地域協議会の役割ではないかと思っている。

## 【中澤会長】

採択されているので、次回以降、皆さんと地域協議会のあり方について話をしていく非常に大事な部分にもなるかと思うので、こういう提案もされているということで扱いたい。

提案者がいるので言いにくいですが、要するに正体が見えない中で良く採択されたと思っている。この事業に対して期待もあるが不安もあり、その正体が「こうなんだ」と今の段階では提示されないとなると、そういう事業に対して、どうあるべきかということになる。

## 【町屋委員】

「採択されたということがすべて」から始まる話として、磯田委員の意見はすごく良い意見だが、それは、地域活動支援事業の根幹に関わる部分で、もっとこうしたら良いのと思うことはたくさんある。でも、それをいちいち、こちらから乗り込んでいって、意見を言うことができるかと言えばできない。もっと、ここをこうすれば良いのということも過去にも発言したら、それはここで審議するべきだ。書面を見て審議するべきだとされ、それは正しい意見だと思う。今回の磯田委員の提案の気持ちも分かるが、余りにもここではイレギュラーになると思う。やはり、今中澤会長がおっしゃったように正体が掴めない。企業のプレゼンとしては良いのかもしれないが、ここで審査してお金をつけるには余りにもその実態がはっきりしない部分と、特記事項の下から2行目は、私の意見だが、私も同じ思いから×を付けざるをえなかったという経緯がある。何も分からないことに対して質問したら、他で行ったらこれくらいと、他の同程度の事例が出せるとされた。でもそれは、質問に対しての回答に参考意見としてはすごくわかるが、何をするか分からないものにお金を付けるという部分であれば、やはり、今言ったように一緒に作り上げていくところを見るしかないが、それを見た後でもう1回どうこうするわけにはいかない。

例えば今回実行委員会の立ち上げに掛かる経費を見て、それをもって、こういうことをするとなったら、来年もう1回提案してもらったほうがすっきりすると思う。

#### 【増田委員】

皆さんが採点した結果、採択になっているので、採択になったものについて、あまり突っ込んではいけないという思いもある。一方で、磯田委員のおっしゃったことはすごくよく分かる。必要なことでもあるが、地域協議会として提案してきた事業に入っていて、相手と向かい合って意見を言うということは、越権行為なので、やるとすれば、この事業は実行委員会とか、地域の声とかを聞く仕組みがよくできていないので、本当はそれを一から聞いてやらなければいけない。その仕組みを作ってくださいというのが磯田委員の趣旨だと思う。その仕組みを作っていた中で、希望する人が入っていて、十分意見を言っていた。それで、事業を良いものにしてもらおうという扱いにしたら良いと思う。

それから、町屋委員が言われることは、今回時間の関係で、皆さんから個人の質問を集めることができなかった。従来通り、個々の皆さんから意見をもらっていたら、提案や意見も出てきて、それを相手にぶつけることができた。相手も分かりました、こうしますというのはできたが、今回はできなかった。今までのように進めれば、相手に対しても提案ができるということになるので、今回はイレギュラーだったということも考えた中で、磯田委員が地域協議会としてどういうふうに関わるかという部分については、事業は事業として、私たちはあくまでも採点業務を行い、そのあとは、有志なり気持ちがある人がその団体に行って、しっかりと意見を伝えるというふうにしたらうまくいくのではないかと思う。

#### 【中澤会長】

次回以降で、地域協議会のあり方について、この問題を1回持たせていただきたい。今日は、ここまでにしておきたいと思う。

下から2行目の「規模が大きいので、もう少し明確な内容を提示して欲しい」という意見が、地域協議会の中に出たところを提案者へ、伝えるべきか意見を求める。

#### 【田村委員】

先ほど増田委員の言ったことは本当に正しいと思う。少し踏み込み過ぎではないか。長い文章を載せるべきではないと思う。そこまで地域協議会がやる必要があるのか。そこを少し考えて欲しい。

【中澤会長】

この話は、次回に持ち越したい。

【磯田委員】

今日は提案者に何を伝えるか。最低限そこだけは押さえないといけないので、これを全部載せてくれと言うつもりはないが、どのように載せるかを議論して欲しい。先ほどの増田委員の話で、実行委員会組織がどういうことを検討するのか。どのように全体をコーディネートしていくのかが見えないので、地域の声を聴きながら、市民参加の形をしっかりと作ってもらいたい。

【青山副会長】

最後の行の「地域協議会として有る程度事業実施にコミットしていく必要があるのではないのでしょうか」という部分を削ってもらったらと思うが、皆さんいかがか。

【中澤会長】

この磯田委員の提案は棚上げにしておきたい。この問題については、地域協議会のあり方と関わってくるので、センターの意見を聞きたい。

【中村センター長】

地域協議会とすれば、採択方針を持って、その地域を良くするために地域活動支援事業を決めていくものであり、採点という形までかと思う。

【中澤会長】

では、3行目の特記事項は棚上げにする。では、4行目の特記事項について、提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手少数)

では、提案者へ伝えないこととする。

次に、5行目の特記事項について提案者へ伝えるべきだと思う委員は挙手願う。

(挙手なし)

以上終了とするが、事務局から再度確認していただきたい。

【小池係長】

では、確認だが、「No.2 五智公園の整備、有効活動支援事業」に関しては、ベンチの部分だけ減額ということで、57万2,000円の希望額が、38万7,000円ということで、18万5,000円減額して採択ということで相手に伝えたいと思う。

それから特記事項として「No.10 <直江津の歴史・食・人・文化をつなぎ紡ぐ事業

>」の1行目の「四十物祭と紙芝居を別々に提案してください」という件について、相手に伝える。伝え方は口頭でよろしいか。

**【中澤会長】**

個人的には文書で伝えていただきたい。四十物祭と紙芝居はそれぞれ別のものであり、どちらかが良くて、どちらかが悪いといった採点ができず、提案の仕方が雑である。だから、四十物祭が悪くて、紙芝居が良いということができないわけである。採点者側として、「別々に提案がほしい。地域協議会としては非常に扱いに困っている」と文書で伝えていただきたい。

**【増田委員】**

「提案文書を整理して、二つに分けて出し直してください」という意味である。別々に提案してくださいにすると、金額は同じでもいいけど、今、中澤会長が言うように、目的とか効果が別である。それを一つに目的と効果をまとめて書くと分からなくなる。

「四十物祭の目的と効果、紙芝居の目的と効果というふうに、きちんと整理をして文書を提出してほしい」という条件をつければ、非常に分かりやすいと思う。

**【中村センター長】**

増田委員の意見について、今回は一つの提案だが、実績報告の中で効果をきちんと2つに分けて提示してほしいという考えでよろしいか。

**【町屋委員】**

例えばベンチの件で、特記事項に「ベンチが引がかかる」と書かれたから、特記事項に載ってベンチ分を減額された。

これを書かれた人がどういう意図を持っているのか。2つの共通項がはっきりしない。「ベンチが引がかかる」のように、今の「四十物祭が引がかかる」と特記事項に書かれた場合、「四十物祭を抜きにして、ここだけにしましょう」と再提出をすることはありえない。だけど、そこは○ここは×は許される。この制度上そのほうがすっきりするのではないか。

**【増田委員】**

これは、再提出するとかではなく、金額は決定なので、これはこれで進む。ただ報告書には、その辺をきちんと分けて書いてください、という条件を付けるのが一番妥当かと思う。

**【中澤会長】**

前提としては、「採択した」という結果が出ているので、中村センター長が言われるような形で報告の段階で分けてほしいをという意見も伝えてほしい。

次に「追加募集について」事務局へ説明を求める。

**【小池係長】**

今ほど18万5,000円減額の団体があったので、総額が692万3,000円となった。配分額が970万円なので、残額が277万7,000円となる。

残額について追加募集を行うか、残額として残すかをご協議いただきたい。初めての委員でおわかりにならない人もいらっしゃると思うが、残額というものは、次年度に繰り越しができないので、追加募集をしなければそのまま残額として残すということになる。

**【中澤会長】**

今までは、どのように扱っているのか。

**【小池係長】**

金額にもよるが、毎年追加募集を行っていた。

**【中澤会長】**

- ・追加募集を行うことで委員から同意を得る
- では、追加募集の期間について、事務局へ説明を求める。

**【小池係長】**

- ・6月25日発行の広報上越に併せて周知したい
- ・募集期間の事務局案：7月1日（水）から7月22日（水）まで

**【中澤会長】**

- ・協議の結果、募集期間は事務局案どおりとすることで委員から同意を得る

**【町屋委員】**

今回、スケジュール的にコロナのせいでタイトだということは皆さん分かっていると思うが、例えば、先ほどの特記事項だが、私にはアドバイス案件のように見える。きちんと質問をして、そこに対しての回答をもらって、そこを踏まえた上で特記事項がつかのなら良いが、質問ではスルーになっていて、このタイミングで言われても言ったもの勝ちみたいな部分があると思う。非常に申し訳ない気持ちが強い。それはきちんと質問の時点で、そういう時間が取れば、もっと良い形に収まるのではないか。今回仕方ないにしても、今回この特記事項の仕方は、あまり良くないと思う。それを皆さんに知っ

ていただきたい。

四十物祭の時に紙芝居とは別々に提案するべきだという意見があり、もちろんそうだと思うが、別々に出てきたら、直江津区の採択方針にソフト事業を優先するというのがある。その方針で何期もしているが、それが大前提でこれが別々だったらハードになってしまう。紙芝居はどちらかというソフトとは言えなくなる。そういう部分に対してもう少し寛容にしなければならないのではないかと。ベンチも、ベンチが駄目というが、本来行政がすべきものでも、それが市民にとって必要であり、優先順位が低いのであれば、ここで出すのはやぶさかではないと思う。目の敵のようになっているのではないかと。例えば、過去にLED照明等を付けた区もある。この考え方を次からもう少し生かしていただきたい。

#### 【中澤会長】

もし、2次募集の審議の中で生かせるのであれば今の意見も生かしたい。ただ問題は1次募集と2次募集のスケジュールを合わせなければいけないので、その辺はまた、話し合いをしたいと思う。

では次に、次回の協議会について事務局へ説明を求める。

#### 【小池係長】

- ・次回の協議会：6月23日（火）午後6時30分～
- ・次回の議題について報告

追加募集の審査スケジュールについては、また次回の会議で決定をしたい。

次回、先ほど中澤会長がご提案された地域協議会のあり方については、どのように進めていくか、会長、副会長と増田委員からもご意見いただきながら、企画していきたいと思う。

#### 【中澤会長】

- ・会議の閉会を宣言

#### 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。